

ペチュニアの管理

置き場所

屋外の日当たりの良い場所で育てます。日照不足になると花つきが悪くなるので注意しましょう。

なるべく雨に当たらない、多湿を避けたできるだけ涼しい場所へ。

管理

花柄（がら）はこまめに摘みましょう。花柄をそのままの状態にしておくと病気の原因になることがありますので、注意しましょう

夏の高温多湿時期は、元気がなくなることがあります。切り戻して風通しをよくしましょう。株がリフレッシュされて美しい姿になります。露地でも3月下旬～11月初旬まで花を楽しめます。伸びた枝の途中からも発根するほど 元気です。

水やり・肥料

土をさわってみて乾いていたら、たっぷりと与えて下さい。春から夏にかけては、晴れた日はたっぷりと水をあげて下さい。

10日～15日に1度、速効性の液肥を与えると一層花付きが良くなります。

◆水はいつもあげているのに、根元の部分が黄色く枯れてきてしまった...

◆ 肥料不足が原因かもしれません。

市販の園芸用固形肥料を与えてください。また、5月から9月にかけては、液体肥料を2週間に一度程度与えるとより一層効果的です。より多くの花を咲かせたい場合は、1週間に一度、市販の液肥を与えることをおすすめします。

◆ 枝の切り戻しが元気のコツです！

枝が伸びてきて株元に花が少なくなってきたら、鉢の縁に沿って切り戻しをしてください。花を残しておきたい場合は、半分程度の枝を選んで切り戻しをして下さい



※切戻し例